

てまり通信 第104号

2025年9月発行

「猛暑」「酷暑」「今までに経験をしたことのない…」という言葉が溢れ、とうとう「危険な暑さ」にまでなってしまった今年の夏でしたが、皆さまはお元気でお過ごしでしょうか。(文 高橋笙子)

最新点訳案内

『ラジオ深夜便』7月号・8月号…NHK ラジオ番組「ラジオ深夜便」の月刊誌から「アンカーエッセー」を点訳しました。

『らくらくクッキング』…7月号では、疲労回復効果がある(と言われる)タウリンを多く含む〈タコとセロリのレモンマリネ〉や、〈小松菜とツナの魅チャンプルー〉〈とろとろおナス〉など夏向きのレシピを選びました。8月号では、〈スペアリブの梅干し煮〉など。他にはふるさとのおかずとして神奈川県のかぼちゃのごまみそあえなどを紹介しています。

『ねこのきもち』…7月号では、家の暑さ対策をもうひと工夫して、猫が居なくなる「ひんやりスポットの作り方」のポイントを紹介。シリーズ物では、能楽師の和久宗太郎さんと愛猫2匹の時間を覗かせていただいています。8月号では、「猫の『狩猟本能』に、迫る」と「猫とハンモック」の記事を選びました。イエネコと呼ばれ、人と暮らしながらも狩猟本能を持っている猫の本能について書かれています。他に、猫とハンモックの疑問や、猫がハンモックを好きな理由などを解説しています。

『いぬのきもち』…7月号は、休刊しました。8月号では、愛犬の「“怖”体験エピソード」、背筋がぞくっとする様な“がち怖”な話から、怖いけれどどこかほっこりする“ほっ怖”な話などを紹介しています。他に「食べ物連載 人の食べ物犬が食べても大丈夫? vol.13」など。

『あとは司直の判断に委ねます』…阿桜世紀著 国会において与党へ厳しい追及をしていた野党議員。その疑問を抱いた秘書が仲間と共に調査を進め真相に近づいていく文庫本です。

『まちづくりニュース 57号』…2025年8月に府中市社会福祉協議会が発行した情報誌です。

『府中市民交響楽団第92回定期演奏会チラシ』

『手打ち』…新聞記事から6月は「春秋」、7月は「余禄」を点訳しました。どちらかを同封しています。

府中市民交響楽団第92回定期演奏会ご案内

10月12日(日)午後2時開演。府中の森芸術劇場どりーむホールにて開催。入場

無料。演奏曲目はモーツァルト交響曲第 38 番「プラハ」とブルックナー交響曲第 7 番です。

てまり日和

毎日必ず作っていたお味噌汁！ しかし今年の夏はさすがに 2, 3 日おきとなりました。何は無くてもお味噌汁さえあればというほどでしたのに。そのお味噌をコロナ前までは毎年妹の家と一緒に作っていました。一晩水に浸しておいた 2 升ほどの大豆を圧力鍋でふっくらと煮ます。少し冷ましてから何回かに分けて大きなミキサーですりつぶし、塩と麴を入れ両手で混ぜ合わせます。それを丸めて焼酎で消毒しておいた樽に、空気を抜くように力いっぱい投げ入れるのです。今思い出しても爽快でした。

妹と代わる代わる樽の中の目標地点めがけて「えいっ」と叩きつけるように投げ入れ、上手く命中すると歓声を上げてやっているうちに、あらぬ方向に……。全部やり終えるのに半日以上は掛かったと思います。しっかりと密閉した樽は納戸に入れて半年ぐらい寝かせておきました。食べごろになった樽の中の半分はあちこちにもらわれていきました。そしてお味噌作りは楽しい思い出となってしまいました。

今は山形の友人から手作りのお味噌が送られて来ます。

皆さまは〈お味噌汁〉好きですか？

点訳ボランティアてまり 連絡先

てまりメールアドレス temari6ten@yahoo.co.jp

代表 石黒喜美子